

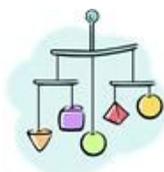
倉田コミュニティハウス通信

2012年2月号 NO. 63

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

1・2・3クラブ 参加者募集

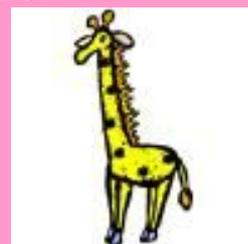
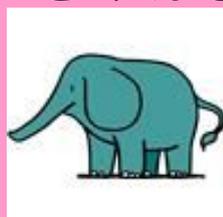
絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、歌の他、毎回、地域で活躍している講師の方をお招きして親子音楽会、人形劇、リズム体操などを行います。親子一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。



日時：2012年4月～2013年3月 全5回コース

- ・ぞうさん組 4月・6月・8月・10月・2月
- ・きりんさん組 5月・7月・9月・11月・3月

第1火曜日 11時から45分程度
(5月のみ第2火曜日)



対象：1歳から未就園児の親子 各35組

参加費：1000円(5回分) / 1組の親子

申し込み：3月5日(月)10時から、来館・電話にて
受付けます。お友達の分の申し込みはできません。
定員になり次第締め切ります。

3月19日(月)までに参加費用をご持参の上、ご来館下さい。その際、詳しい予定表を配布いたします。
また、参加費用お支払い後、返金はいたしかねますので、ご了承下さい。

2月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(水)	抽選会	午前 10 時から 2012 年 3 月分の抽選会です。	
4・11 18・25 (土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0歳～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100 円です。
7(火)	1・2・3 クラブ & フリースペース	1歳～未就園児向け の子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 0 時から 1 時まで フリースペースになります。
11・25 (土)	サックス講座		申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
15(水)	ぴよぴよクラブ	0～1歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 0 時まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50 円です。
17(金)	サロン上倉田	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10 時から午後 2 時まで
18(土)	フコの厨房でフコに習うパン講座		申し込みは終了しました。
21(火)	0歳児クラブ	0歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
21(火)	フリースペース	親子の遊びスペース	午前 11 時から午後 0 時まで
22(水)	上倉田社協食事会	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11 時半から午後 2 時まで
24(金)	ハートぽっぽクラブ	1歳半～2歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 0 時 30 分まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 100 円です。
27(月)	休館日	全館点検のためお休みいたします。	

「幸せな時間」

パッチワークを以前から習いたいと考えていたところ、倉田コミハで昨年6月からパッチワーク講座が始まり、9月までの6回コースで4点の作品を教えてくださいました。

基礎から布地の裁ち方や縫い方を学び、講座の日以外にもコミハに集まり、楽しく語らいながら、手も動かして個性的でカラフルな作品を縫い上げることができました。10月末のコミハ文化祭には、講座での4点の他に応用で縫った作品も展示されて、良い思い出になりました。10月からは、「パッチワークサークルなでしこ」としてスタートして、講座の先生方に続けて教えていただけることになり、活動しています。家でひとりで縫っているよりも近くの地域の方々が集うコミハで、わからないところを聞いたり、他の仲間が工夫しているところを見たりして同じ趣味の語らいの中に、喜びや楽しさを見つけました。パッチワークは、小さな布を縫いつなぎ大きなものを作り上げていきます。その面白さがわかってきました。布の色や柄や形を考え合わせながら縫っていくので頭の体操ができるし、好きな事をするために家事や買物も計画を立てて、手順良く、時間の使い分けも上手になり、作品を作り上げていく達成感が味わえます。

これが心のゆとりとなって楽しく元気に生きていくという事なのかと、幸せな時間を感じている今日この頃です。



《 C・N 》



スタッフのひと一言

「あれから一年」

外に飛び出した。電柱が小刻みに震え、電線は大きく左右に振れていた。振り向くと木造の我が家はギシギシ、ピシピシ、不気味な音をたてながら揺れに耐えていた。地面は滑るように前後左右に動いていた。まるでゼリーの上にも乗っているかのようだった。上下動はあまり無かったように思う。扉にしがみついて転倒は免れた。揺れが少しおさまったとき、「フォーッ」と大きく息を吐いたのを憶えている。

10日程経った頃、海外に住む9歳になる孫娘が日本の惨状を知り、全財産を（といっても貯めていた数十ドルのことだろうが）母親を伴って赤十字に届けたことを知った。＜そんな子に育てているお前ら夫婦を誇りに思う・・・＞メールを送った。ちょっと照れ臭かったが。昨今、行儀の悪い子供の多さに辟易していたので、うれしかった。

「夏の輪番停電」発表された停電の時刻が近づくと緊張しながらテレビの前でその瞬間を待つ。「プン」と小さな音を立ててテレビが暗転すると「よし」となぜかほっとしたりした。一度も冷房機のスイッチを入れずに過ごした。

あの連帯感は何なのだろう。緩やかなつながりからくる一体感が心地よかった。

あれから一年。40年後ともいわれる「廃炉」までの気が遠くなるような年月。

また、暑いあつい夏が来る。

《 M・T 》